



紙芝居「だいじなたまご」

(低学年向け)

脚本:高木 あきこ 絵:有賀 忍 (12枚・表紙含む) 製作:公益社団法人「小さな親切」運動本部

① 学校で飼っているチャボがたまごを産むと、1年生が順番にもらえます。たっくんはそれをずっと楽しみにしています。



② ある日とうとう、たっくんに順番がまわってきました。たっくんは、チャボのたまごを大事にポケットに入れました。



③ 学校帰り、たっくんは、飛行機を真似て走っていくクラスの友達にぶつかりてしまいます。



④ だいじなたまごが割れ、中身がビニル袋に流れ出てしまいました。



⑤ たっくんは、悲しさと、ぶつかってきた友達しんちゃんへの怒りをおぼえます。



⑥ 家につき、お母さんに泣きながら事情を説明しました。



⑦ お母さんは、「大丈夫」とたっくんをはげまし、割れたたまごの中身を丁寧にすくい取って、お料理をしてくれました。



⑧ お母さんは、いりたまごをおいしそうに食べてくれました。たっくんも一口食べて、そのおいしさにとっこりします。



⑨ その日の晩ご飯にはいりたまご入りのサラダが。お父さんも、おねえちゃんもおいしいと言って食べてくれました。



⑩ ごはんのあと、お母さんはたっくんに、ぶつかってきたしんちゃんに悪気はなかったのではないかと考えてさせます。



⑪ 次の朝、しんちゃんにたまごの話をする、しんちゃんは驚いてあやまりました。たっくんはちゃんと食べたことと安心させます。



⑫ 休み時間に、たっくんとしんちゃんは、チャボ小屋にいました。たまごをおいしく食べたことを、チャボに報告しました。

